

会 議 開 催 結 果

1 会 議 の 名 称	令和5年度砥部町男女共同参画推進審議会
2 開 催 日 時	令和5年9月6日（水）19:00～20:30
3 開 催 場 所	砥部町役場 2階 大会議室
4 審 議 等 事 項	(1) 第2次砥部町男女共同参画計画について (2) 令和4年度各課の取り組みについて (3) 今年度の各課の取り組みについて
5 出 席 者 名	【出席委員】 越智浩介、三谷吏代、芳之内徹、金井宏之、土居慶子、 松田知美、福田雅大、石丸世志、竹下浩子 【事務局】 小中学（企画政策課長）、善家孝介（同課課長補佐）、 中川正志（同課係長）、高市梨紗子（同課会計年度任用職）
6 公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開
7 非公開の理由	—
8 傍 聴 人 数	0人
9 所 管 課	企画政策課 企画政策係 電話 089-962-7250

令和5年度砥部町男女共同参画推進審議会 会議録

発言者	発言内容
事務局	・開会あいさつ ・自己紹介 ・配布資料確認 ・会議の公開・非公開について 公開とする。 ・会長、副会長の選出 委員の互選により、会長 金井宏之委員、副会長 土居慶子委員に決定 協議事項 (1) 第2次砥部町男女共同参画計画について ・事務局説明
委員	数値目標は5つのみ設定しているのか。
事務局	第2次砥部町男女共同参画計画における数値目標は5つのみである。
委員	令和7年、令和12年の目標値は誰がどのようにして決めたのか。
事務局	各課に意見の聴取を行った後、各課から1名ずつ集めた男女共同参画推進本部推進委員会で協議し、最終的に町長を本部長とする推進本部で計画の内容や目標を諮り策定している。なお、主要課題1、2の数値目標は住民アンケートを実施し集計結果を参考にしており、主要課題3、4の数値目標は計画を策定した令和2年度の実績値を参考にしている。 協議事項 (2) 令和3年度各課の取り組みについて ・事務局説明
委員	医療技術大学と連携して行う小中学校の思春期教室について、健康面だけではなく、加害者も被害者も作らない、いわゆる性暴力をなくす方策を医技大と連携して学べる点

	は砥部町ならではだと思うので、非常に評価すべき点である。
委員	地域を回る人権教育巡回学習会の参加者数は。
事務局	担当課では把握している。
委員	人権教育巡回学習会を周知する際、色々な方が興味を持てるよう具体的な内容が書かれていたら、参加してみようという気持ちになると思う。
委員	暴力等による一時保護等の対応について、相談の件数や対応内容は把握しているか。
事務局	把握している。住民基本台帳のシステムにおいても要保護者の支援をしっかりと行っている。
委員	支援措置は今や DV だけでなく、恋愛絡みのストーカーも該当する。親子間の暴力も該当し、成人した娘や息子が親からの暴力から逃れたいという理由で相談する件数が伸びている。
事務局	協議事項 (3) 今年度の各課の取り組みについて ・事務局説明
委員	数値目標にある管理職の女性職員の割合について、スキルアップを図るための教育や研修を行ったり、女性が力を発揮できるようなプロジェクトチームを作ったりするのはどうか。
事務局	県や町村会等が実施する外部研修への参加を推奨しており、管理職への昇任試験についても、対象者に勧奨を行っている。今後も引き続き外部研修機関等を利用し、能力開発の機会を提供し、支援を行っていきたい。
委員	女性の管理職員を増やすために、性別毎の採用人数や比率を定めているのか。それとも能力重視なのか。
事務局	能力重視であるが、ここ最近の採用は女性が多くなっている。また、プロジェクトチームについても検討したい。
委員	数値目標に短絡的なものが多い点が気になる。周知度や開催数ではなく、参加者数にする等、変更できないのか。

事務局	数値目標は変更可能である。現在の取り組み内容と数値目標は因果関係が分かりにくいものもあるので、例えば、各課の取り組みに具体的な数値目標を設定するなど、担当課と改善方法を検討していきたい。
委員	課単位で数値目標を出した方が分かりやすい。また、課長向けの研修を行うより育休の取得率を出す方が分かりやすい。
委員	ひめボス宣言について、現時点で砥部町内の商工業者は小規模なところが多く、全事業所での宣言は難しいが、引き続き役場と連携して、商工業者に対しての周知を行っていききたい。
事務局	ひめボス宣言について、今年8月1日から制度が新しくなった。砥部町はまだ申請できていないが、今年度中に基本認証であるひめボス宣言事業所の認定が受けられるよう準備を進めている。
委員	子育て支援について、育児等で疲れている方たちの手助けになるよう、色々と提案したいと考えているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり事業の拡大ができていない。出張広場という形で町内の商業施設で催し物を開催しているので、施設の周知とニーズの把握を行い、今後も実情に沿った事業を考えていきたい。その他、中学生が夏休みの間ボランティアに来てくれており、子どもと交流をしている。
事務局	中学生のボランティアは授業の一環か。それともボランティアを募集したところ、中学生の応募があったのか。
委員	夏休みや行事ごとにボランティアを募集している。また、別件で小さいお子さんと触れ合う機会の提供を中学校と連携して行っており、町内の1歳前後の子どもを持つ母親に協力いただき、中学校3年生と1時間程度の触れ合い体験をしてもらっている。
事務局	そのほか、ご意見はないか。 無いようであれば、以上で議事を終了とする。 ・事務連絡 ・閉会宣言